

# 市民参加・協働に関する調査の結果（概要）

## 1. 調査の趣旨

相模原市では、平成15年2月にパートナーシップ推進指針を策定してから4年が経過し、さらなる発展をめざした推進方策の検討に向け、「市民」と「行政」の双方の評価や意識差から現状と課題を把握するために調査を行いました。

## 2. 調査区分

今回の調査では、パートナーシップ型のまちづくりを次の2つの区分から実施しました。

- ① 市民参加 ⇒ 企画・立案段階等において、主に意見を述べる機会への参画（審議会や委員会など）
- ② 協働 ⇒ 「市民」と「行政」が連携・協力し実施している事業（実行委員会方式による各種イベント、アダプト制度による街美化活動、補助・助成による組織・事業運営など）

## 3. 実施期間 平成18年11月21日～12月28日

## 4. 調査票の依頼・回収状況 (市民参加25事業、協働38事業)

区分・対象	依頼件数	回答件数	回収率
◆市民参加			
○ 公募選考や団体推薦による委員(1名以上)	42件	38件	90%
○ 担当課(1)	25件(23課)	25件(23課)	100%
◆協働			
○ 行政との連絡・調整に中心的に関わった方(1名以上)	76件	53件	70%
○ 担当課(1)	38件(23課)	38件(23課)	100%
◆合計	181件	154件	85%

## 5. 調査方法

調査票の区分に応じ、各事業担当課において対象者を任意に選定し、あらかじめ調査協力依頼を行い、同意の得られた市民に対して調査票を郵送することにより実施しました。

## 6. 調査事項のポイント

市民参加・協働ともに5つの区分を設け、各ブロック4問、合計20問の設問に対し、意識度をチェックする調査票を用意しました。

区分	市民参加	協働
A	募集の段階 (募集情報、募集時期・内容・構成)	準備の段階 (情報、協働の効果、準備時間、協議の円滑さ)
B	審議の段階 (日程、資料・説明、発言の機会、意見聴取)	実施の段階 (情報共有、行政・市民の役割分担)
C	取りまとめの段階 (経過の反映、熟度、公開度、情報提供)	検証・評価の段階 (効果、市民の特性、公開・報告、協議)
D	意識度 (成果、継続的関わり、メリット、負担感)	意識度 (メリット、信頼関係、協働事業の継続性)
E	その他(推進方策の有効性など) (マニュアル、事例報告、条例、参加の拡大)	その他(推進方策の有効性など) (マニュアル、事例報告、条例、提案制度)

## 7. 回答方法及び数値化

回答は、次の a～d のレベルでチェックするものとし、上記 A～E の区分（段階）ごとに自由意見を記載できる調査票としました。

レベル	意識	数値
a	肯定する	2
b	どちらかと言えば肯定する	1
c	どちらかと言えば否定する	-1
d	否定する	-2
空欄	設問事項の場に至っていない(該当しない)など	0

\* ただし、市民参加の B-4 の設問については、a = -2 点、b = -1 点、c = 1 点、d = 2 点、未記入 = 0 点) として、回答を数値化することとしました。

- ① 各設問項目の回答の合計点を求める。
- ② ①で求められた平均値を、市民・行政の平均的な意識と考え、合計点を回答者数で除し、平均値を求める。⇒ グラフ化（レベル±2（有効値：-0.5～+2））

## 8. 資料 市民参加・協働に関する調査の結果

### (1) 「市民参加」の結果

- ① グラフ（折れ線グラフ -0.5～2）
- ② 設問項目と回答状況一覧表
- ③ 調査結果のポイント
- ④ 項目別調査結果一覧

### (2) 「協働」の結果

- ① グラフ（折れ線グラフ -0.5～2）
- ② 設問項目と回答状況一覧表
- ③ 調査結果のポイント
- ④ 項目別調査結果一覧結果